

一般社団法人ビリーバーズ 第12回理事会議事録

1. 開催日時 令和7年9月22日(月) 午後3時00分～午後3時31分
2. 開催場所 当法人事務所
3. 出席状況 理事総数3人 監事1人 有効出席者数3人
4. 議長選任の経過 上記のとおり定足数に足る出席があったので、定款の規定により代表理事の熊野英一が議長になり、直ちに議案の審議に入った。

5. 議事

第1号議案 今期の事業計画、及び予実の振り返りについての審議

ビリーバーズ広尾は、人数としては70名登録者に対して88名の登録者になっている。実利用人数は一日当たり5～6名程度。11月からリーダー井上が入り、東京都の補助金も貰えるようになり、順調に運営が進むようになってきている。

ビリーバーズ板橋は、10月から5月第3週まで、大山で週3、高島平で週1だったが、5月下旬から日数が増えた。稼働日数が増えた分、1日平均人数は減っているが、全体的には安定している。

本部の活動としては、オンラインイベントのキックオフミーティング、年2回の助成金講座で収益を得ている。その他、3団体合同イベントではまだ知られていない層への認知を広げている。

東京都の補助金は、ビリーバーズ広尾が昨年10月～今年3月交付済み、今年4月～来年3月まで交付が決定している。ビリーバーズ板橋は、今年度から交付対象となり、今年10月～来年3月までの交付がほぼ決まりつつある。予実については、ビリーバーズ広尾は少しずつ実績が伴うようになっている。今期も子どもの稼働が順調になっているので、ビリーバーズ広尾の赤字はだいぶなくなる予定である。ビリーバーズ板橋は、東京都からの補助金なしで運営し、実績としては黒字で進んできた。しかし、5月から家賃がかかってきている分、単月での赤字が発生しているが、今後、補助金を受給することで赤字を埋めることが可能と考えている。本部は、コミュニティ運営事業等の委託料が売上として計上されている。トータルでは、約150万円の赤字になっているが、ビリーバーズ板橋の補助金が入ることで黒字化が見込めるので、第5期は本部経費も含めて赤字を避けられる予定である。

第2号議案 ビリーバーズ広尾・板橋の東京都補助金に関する報告

第1号議案で言及した通りである。

第3号議案 ビリーバーズフランチャイズ拠点に関するご報告

フランチャイズ拠点第1号のビリーバーズ西小山が今年5月からスタートしている。細かな数字の確認は、まだ確認できていない。ビリーバーズ西小山の安定稼働が見えてきたタイミングで、数字確認を行う予定していると代表理事の熊野から報告があった。監事から、ビリーバーズ西小山の事業主体の名

前が出ていないことに対して整理したほうが良いのではないかと発言があった。ビリーバーズ西小山のWebサイトに事業主体が明記されていないことは、対外的に誤解を招きかねないので、ビリーバーズ西小山の村上氏とすり合わせをすることを確認した。

第4号議案 次期理事に関する報告

現在理事の高橋真理子氏は、現場との距離を縮め、より高橋氏の強みを活かせるように、理事ではない立場でより現場に関わりたい旨申し出があったので、代表理事の熊野がそれを承諾した。5期の理事は、これまでプロボノとしてかかわっていた関川氏に依頼をして、内諾をもらっている。

第5号議案 その他、理事、監事が取り扱いたい議題について


特に議題は上がらなかった。


議長は、以上をもって本日の議案の審議を終了した旨を述べ、午後3時31分閉会した。


以上の決議を明確にするため、この議事録を作成し、議長及び出席理事、出席監事が記名押印する。

令和7年9月22日

一般社団法人ビリーバーズ

議長 熊野英一 

出席理事 蔵本美紀 

出席理事 高橋真理子 

出席監事 小倉啓吾 